

## 原子核分裂技術そのものからの撤退をめざして

明仁 憲一

原子力発電は未完成な技術、あるいは永久に完成することのない技術で、人口の密集し地震や津波の多発するわが国ではリスクが大きすぎる。一刻も早く原発を終息させ、再生(更新)可能エネルギーを柱とするエネルギー体系へと移行すべきだ。自然エネルギーという表現は適切でない。関西電力管内に若狭湾の原発 14 基が林立し、福島の事態も他人事ではない。琵琶湖が放射能汚染されると、京都や大阪など下流域が飲み水を失う。世界の原子力開発はその当初より爆弾や艦船動力など軍事目的に傾斜し、「広島・長崎」を体験したわが国とて例外でない。1954 年、ビキニ水爆実験で焼津のマグロ漁船第五福龍丸などが被爆した翌日、原子力予算が中曽根康弘らにより国会提出される。原水爆禁止の世論が高まる中、「民主・自主・公開」の平和利用三原則を日本学術会議が採択。「純粋な平和利用」の道が探られてきた。しかし原則は一度も守られていない。果たして「純粋な平和利用」は可能か。「平和利用」の幻想を捨ててはどうなのか。

福島第一原発事故を受けて、核兵器廃絶の運動とも連帯して、次のように提案したい。

原子核分裂を利用する、またはこれに関連する、全ゆる技術並びに事業からの撤退をめざして、私たちは行動する。

具体的には、以下のように進めたい。

- ① Pu を生産する軍事炉の廃止を各国に求める。わが国では、旧動燃・高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉解体を求める。危険なプルサーマル計画を廃止する。
- ② 発電目的の商用炉の廃止方針を確立し、手続きのための法的制度を整備する。全基廃炉完了の期限も定める。当面、地震の危険が大きく老朽化が進みトラブルの多い BWR など 19 基、PWR15 基の廃止を決定し、1 基 10 年の工程で速やかに解体する(表参照)。他も順次廃止し、新增設は一切認めない。欧州諸国の廃炉経験に学び、ロボット技術を導入して放射被曝を最小化しつつ進める。推進側のいう 1 基 30～40 年などは原子力事業を恒久化するもので、断じて認められない。廃炉解体には多額の出費を要する。電力事業連合会、支援銀行、原子炉メーカーの負担による「原子炉解体事業基金」を創設し、電気料金引上げなど国民負担につながらぬようにして進める。
- ③ 廃炉解体を進めるために、当該原発の抱える使用済核燃料の暫定貯蔵所を国内に確保する。最終処分法は別に検討する。フィンランドへの輸送などできるはずもなからう。
- ④ 核兵器製造につながるウラン濃縮工場、核燃料再処理工場を速やかに廃止する。
- ⑤ 既設の研究炉にも地震の危険があり、更新の際は慎重に検討する。
- ⑥ 医療放射線の利用や中性子線の研究などは、加速器を用いて慎重に行う。
- ⑦ 政府の規制委員会を、国民の安全に責任を持つ権限ある機関となるようにする。
- ⑧ 電力総需要を抑えつつ、再生可能エネルギーを柱とする小規模分散型送電システムへの移行をめざす。電力は必要な地で必要な電力を供給する。高圧遠距離交流送電より低圧直流送電への移行を進める。電力事業地域独占の廃止と発電・送電事業への新規参入の促進、固定価格買取制度、補助金制度などを進める。

以上の主張は、人類が一度獲得した「知」の放棄を含むものだ。これは「科学技術否定論」に陥るものではない。地球文明そのものを崩壊させかねない「知」を放棄することこそが、真の科学、真の哲学であろう。

速やかに廃止し、廃炉解体を進めるべき炉

事業者名	炉名	炉型	出力 万 kW	経年
北海道電力	泊 1号	PWR	57.9	22
東北電力	女川 1号	BWR	52.4	27
	東通 1号	BWR	110	7
東京電力	△福島一 1号	BWR	46	41
	△ 一 2号	BWR	78.4	37
	△ 一 3号	BWR	78.4	36
	△ 一 4号	BWR	78.4	33
	一 5号	BWR	78.4	33
	一 6号	BWR	110	32
	福島二 1号	BWR	110	29
	二 2号	BWR	110	28
	二 3号	BWR	110	26
	二 4号	BWR	110	24
	柏崎刈羽 1号	BWR	110	26
日本原電	*東海	GCR	16.6	46
	東海第二	BWR	110	33
	敦賀 1号	BWR	35.7	42
	2号	PWR	116	25
中部電力	*浜岡 1号	BWR	54	36
	* 2号	BWR	84	34
	3号	BWR	110	24
	4号	BWR	113.7	18
	5号	ABWR	126.7	7
北陸電力	志賀 1号	PWR	54	18
関西電力	美浜 1号	PWR	34	41
	2号	PWR	50	39
	3号	PWR	82.6	35
	高浜 1号	PWR	82.6	37
	2号	PWR	82.6	36
	大飯 1号	PWR	117.5	33
	2号	PWR	117.5	32
中国電力	島根 1号	BWR	46	38
四国電力	伊方 1号	PWR	56.6	34
	2号	PWR	56.6	30
九州電力	玄海 1号	PWR	55.9	36
	2号	PWR	55.9	31
	川内 1号	PWR	89	27
旧 動燃	*ふげん	ATR	16.5	34
	もんじゅ	FBR		18

建設中・準備中の炉

炉名	炉型	出力 万 kW
島根 3号	ABWR	137.3
大間	ABWR	138.3
福島一 7号	ABWR	138
上関 1号	ABWR	137.3
敦賀 3号	APWR	153.8
福島一 8号	ABWR	138
東通 1号	ABWR	138.5
敦賀 4号	APWR	153.8
川内 3号	APWR	159
東通 2号	ABWR	138.5
浜岡 6号	ABWR	140
上関 2号	ABWR	137.3
浪江・小高	ABWR	82.5
東通 3号	ABWR	138.5

(炉型)

BWR	沸騰水型軽水炉
ABWR	改良沸騰水型軽水炉
PWR	加圧水型軽水炉
APWR	改良加圧水型軽水炉
GCR	黒鉛減速炉
ATR	新型転換炉
FBR	高速増殖炉

\* 既に廃止決定されている炉